

## 理 科 授 業 シ ラ バ ス

科目名	単位数（標準単位）	学科・学年・学級
地学基礎	2 単位（2）	芸術科

### 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験、を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。【知識及び技能】</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】</p>
使用教科書 ・副教材等	<p>教科書：『高等学校 地学基礎』 啓林館（地基／703）</p> <p>副教材：『センサー地学基礎』 啓林館</p> <p>『新課程 フォトサイエンス地学図録』 数研出版</p>

### 2 学習計画

学期	月	学習項目 (単元名等)	学習内容	評価の観点・評価基準	考查
1 学期	4 月	第1部 固体地球と その活動	第1章 地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球の形と大きさや地球内部の層構造とその状態について理解できる。【知】</li> <li>・地球内部の層構造とその状態について考えることができる。【思】</li> <li>・地球の特徴に興味をもち、地球の形と大きさや地球の内部構造について調べようとする。【態】</li> </ul>	1 学期 中間 考查
	5 月		第2節 活動する地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3種類のプレート境界について理解し、プレート運動に伴う大地形や地質構造、地震活動や火山活動について理解できる。【知】</li> <li>・大地形や地質構造、岩石の形成について、プレート運動と関連付けて考えることができる。【思】</li> <li>・プレート運動に興味をもち、プレート運動に関連する地震の発生や火山活動等のしくみについて調べようとする。【態】</li> </ul>	
	6 月	第2部 大気と海洋	第1章 大気の構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気圏の層構造と雲の発生のしくみを理解できる。【知】</li> <li>・気温や気圧の鉛直方向の変化から、大気の層構造について考えることができる。また、雲の発生について、大気中の水蒸気のふるまいと関連付けて考えることができる。【思】</li> <li>・身近な体験から大気の特徴について興味をもち、大気圏の層構造について調べようとする。雲の発生のしくみについて振り返り、日常生活や社会に生かそうとする。【態】</li> </ul>	
【1学期の評価】『知識・技能』『思考・判断・表現』『主体的に学習に取り組む態度』の3観点別で評価する。					

学期	月	学習項目 (単元名等)	学習内容	評価の観点・評価基準	考查
2 学 期	7月	第2部 大気と海洋	第2節 太陽放射と 大気・海水の 運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球全体のエネルギー収支がつり合っていることを理解することができる。【知】</li> <li>緯度によるエネルギー収支の違いについて考えることができる。海水の運動による熱輸送について考えることができる。【思】</li> <li>地球が宇宙との間でエネルギーを吸収・放出していることに興味をもち、緯度によるエネルギー収支の違いや、大気の大循環による地球規模の熱輸送について調べようとする。【態】</li> </ul>	2 学 期 中 間 考 査
	9月		第3章 日本の天気	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本で見られる天気の特徴を理解することができる。【知】</li> <li>季節ごとの偏西風の位置や季節風のしくみについて考えることができる。【思】</li> <li>日本の天気に興味をもち、日本の天気に影響を与える偏西風や季節風の特徴について調べようとする。【態】</li> </ul>	
	10月	第3部 移り変わる地球	第1章 地球の誕生	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇宙の誕生について理解することができる。【知】</li> <li>太陽系の誕生と惑星の成因について考えることができる。【思】</li> <li>太陽系と地球の誕生の経緯に興味をもち、太陽系の誕生と太陽系の各天体の特徴、および地球が生まれる環境となった理由について調べようとする。【態】</li> </ul>	
			第2章 地球と生命の 進化	<ul style="list-style-type: none"> <li>古生物の変遷に基づいて地質年代が区分されることについて理解することができる。【知】</li> <li>大気や海洋、気候などの地球環境の変化と生物の活動の相互関係について考えることができる。【思】</li> <li>地球の歴史に興味をもち、地球の誕生から生命の出現に至る地球の歴史について調べようとする。【態】</li> </ul>	2 学 期 期 末 考 査
			第3章 地球史の 読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>地層に基づいて地球の歴史を知ることができる理由を理解することができる。堆積岩が形成されるしくみを理解することができる。【知】</li> <li>流水のはたらきによって地層が形成されるしくみについて考えることができる。【思】</li> <li>地層や堆積岩が形成されるしくみについて振り返って、日常生活や社会に生かそうとしている。【態】</li> </ul>	
11月					
【2学期の評価】『知識・技能』『思考・判断・表現』『主体的に学習に取り組む態度』の3観点別で評価する。					
	12月	第3部 移り変わる地球	第3章 地球史の 読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>地質構造や化石などの地層の記録や、地層の対比などに基づいて、地史を知る方法を理解することができる。【知】</li> <li>地質構造や化石などの地層の記録や、地層の対比などに基づいて、地史について考えることができる。【思】</li> <li>地史を知る方法に興味をもち、地質構造や化石などの地層の記録や、地層の対比などに基づいて、地史を知る方法を調べようとする。【態】</li> </ul>	
3 学 期	1月	第4部 自然との共生	第1節 地球環境と人間	<ul style="list-style-type: none"> <li>人類が自然から受けている多様な恩恵について理解することができる。地震災害、火山災害についてりかひすることができる。【知】</li> <li>地球環境の変化の時間・空間スケールについて考えることができる。人類が自然から受けている多様な恩恵について考えることができる。地域の特徴に合わせた防災対策について考えることができる。【思】</li> <li>自然との共生に興味をもち、人間生活と地球環境の変化との関係について調べることができる。人間生活と地球環境の変化との関係について振り返って、日常生活や社会に生かそうとする。【態】</li> </ul>	学 年 末 考 査
	2月		第2節 地震災害・ 火山災害		
	3月		第3節 気象災害 第4節 災害と社会 第5節 人間生活と地 球環境の変化		
【学年末の評価】各学期の評価を基にして、観点別評価を行い、その総括として5段階の評定を付す。					